

質問事項

- ◆小中学校の統廃合基準
- ◆大倉保育所の(仮称)佐原認定こども園への統合
- ◆避難所の運営
- ◆利根川流域氾濫危険度

# 久保木 清司

くぼき せいじ 議員

## 大倉保育所の統合問題は、避難所運営の問題点は



### 避難所の運営は

**問** 7600万円で購入の感染防止用備品の多数は、人口少数の山田地区や栗源地区に保管。7月3日土砂災害避難指示の市民体育館で、送風機・避難用パーテーションを使わなかった理由に避難者が居ないとしたが、地震

**答** 大倉保育所を含めた再編統合について保護者説明会を開催しましたが、大倉保育所を利用する保護者から統合への理解をいただけないとの意見が寄せられたことから、再編統合に大倉保育所を含めないことと決定しました。

**問** 地域と保護者から反対の声多数。8月19日保護者有志から、大倉保育所存続を求める請願書を市議会議長宛に提出。統合しない決断は。

**答** 大倉保育所の児童数の減少が進み大倉地区の出生数の推移から、今後、適正規模の集団確保が難しくなることが想定されます。また、新たなこども園では、特別な支援を必要とする児童への保育の充実を図ることから、大倉保育所を統合対象施設としました。

### 大倉保育所の統合は

**問** 事前説明も無く、保護者へ合同説明会の文書が届き、文化会館での合同説明会で、大倉保育所が佐原認定こども園へ統合する旨の説明。この統合理由は。

**答** 大倉保育所の児童数の減少が進み大倉地区の出生数の推移から、今後、適正規模の集団確保が難しくなることが想定されます。また、新たなこども園では、特別な支援を必要とする児童への保育の充実を図ることから、大倉保育所を統合対象施設としました。



避難所での受付の様子 (市民体育館)

**問** 不均衡な配置状況を改善できない理由は。災害用備蓄品全てを防災備蓄倉庫へ搬入できなかったため、現在、旧佐原給食センターなどへ仮置きしています。迅速な避難所開設を行うため、防災備蓄倉庫を避難所に隣接して整備することが適切であると判断し、令和3年度中に倉庫の設置を完了させ、その後、順次仮置場から各防災備蓄倉庫へ搬入し適正な配置を進めていきます。

## 移住定住促進策に奨学金返還支援制度の導入を



質問事項

- ◆学生支援
- ◆地域気象防災支援

# 辻達広

つじ たつひろ 議員

### 自治体からの支援でUターン就職の促進を

**問** 奨学金返還支援制度のある自治体でUターン就職の事例が出ているが香取市でも推進できないか。

**答** 奨学金返還支援制度の推進については、関係各課と連携し調査研究をしていきたいと考えています。

**問** 奨学金返還支援制度が移住定住のきっかけになっている場合があるが導入の考えはあるか。

**答** 高額な奨学金の返済を免除することは、対象者1人に対する経費も高額となります。財源としては、国からの特別交付税による財政措置がありますが、人口減少が続く香取市においては、措置率が30%の低い設定となっていることから、奨学金返還支援制度の導入は難しい状況にあると考えます。

### 気象防災アドバイザーの採用で地域防災力の強化を

**問** 激甚化する災害に対して地元気象台との連携はどうなっているか。

**答** 銚子地方気象台主催の防災気象連絡会及び台風接近前に自治体向けに実施される台風の概況説明会に出席しています。また、大規模災害の発生が予測される場合には、気象台長



銚子地方気象台 (銚子港湾合同庁舎3階)

**問** 気象防災アドバイザーの育成や委嘱を推進できないか。

**答** 気象の専門家である気象防災アドバイザーの有する知識や経験は非常に有用であり、香取市に特化した気象分析が可能になるものと思われま。また、住民や市職員を対象にした講座などを開催することにより、気象・防災知識の普及啓発及び防災意識の向上につながるものと考えます。市としては、他の自治体の事例を参考としながら気象防災アドバイザーの活用について調査研究をしていきたいと考えます。

とホットラインを構築するとともに、気象予報に関する情報提供を随時受けています。